



令和3年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

令和2年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 モリ工業株式会社

コード番号 5464 URL <https://www.mory.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森 宏明

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 河野 博光

TEL 06(6635)0201

四半期報告書提出予定日 令和2年11月6日 配当支払開始予定日

令和2年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和3年3月期第2四半期の連結業績(令和2年4月1日～令和2年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
3年3月期第2四半期	16,095	△23.1	974	△47.8	1,198	△38.5	914	△43.0
2年3月期第2四半期	20,934	△2.8	1,865	△21.4	1,948	△25.8	1,604	△9.9

(注) 包括利益 3年3月期第2四半期 965百万円(△36.9%) 2年3月期第2四半期 1,531百万円(△16.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
3年3月期第2四半期	116 55	—
2年3月期第2四半期	204 10	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
3年3月期第2四半期	52,015	40,787	78.4	5,195 03
2年3月期	54,118	40,293	74.4	5,131 39

(参考) 自己資本 3年3月期第2四半期 40,764百万円 2年3月期 40,267百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2年3月期	—	30 00	—	60 00	90 00
3年3月期	—	30 00	—	—	—
3年3月期(予想)	—	—	—	30 00	60 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和3年3月期の連結業績予想(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,700	△22.4	2,200	△42.2	2,300	△42.2	1,700	△42.7	216 64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	3年3月期2Q	7,949,580株	2年3月期	7,949,580株
② 期末自己株式数	3年3月期2Q	102,810株	2年3月期	102,333株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	3年3月期2Q	7,847,033株	2年3月期2Q	7,860,476株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 P3「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(会計方針の変更)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 9
<参考資料>	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大防止に配慮しつつも、経済活動の再開が進められ、景気は緩やかに持ち直しております。企業部門では、業績の急激な悪化により設備投資は弱含みで推移していますが、生産は持ち直しつつあります。個人消費は特別定額給付金などの政策効果もありましたが、一方で失業者の増加などもあり賃金の減少が見られます。また、当面はインバウンド需要は消失したままで、感染者の再拡大により経済の回復が遅れる懸念も残されている不安定な状態です。

当社グループが属しておりますステンレス業界は、大きな値崩れはなく、自動車関連など一部においてはやや回復傾向も見られるものの、全体としては依然として荷動きが低調に推移しています。

このような状況下におきまして、当社グループの当第2四半期連結累計期間における売上高は160億95百万円（前年同四半期比23.1%減）となりました。前年同四半期に比べ販売数量の減少により売上高は減少しております。収益面におきましては、生産高の減少と工場の一時帰休等による稼働率の低下により、営業利益は9億74百万円（前年同四半期比47.8%減）となりました。経常利益は雇用調整助成金や受取配当金が寄与し、11億98百万円（前年同四半期比38.5%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は投資有価証券の売却益がありましたが、前年同四半期の固定資産売却益が無くなり、9億14百万円（前年同四半期比43.0%減）となりました。

各セグメントの状況は次のとおりです。

(日 本)

日本事業の売上高は157億27百万円（前年同四半期比21.4%減）、セグメント営業利益は9億14百万円（前年同四半期比47.8%減）となりました。製品部門別の売上高は以下のとおりです。

ステンレス管部門は、配管用は数量が減少し、自動車用も特に前半のメーカーの生産調整が響き、数量が減少し、売上高は84億52百万円（前年同四半期比18.8%減）となりました。

ステンレス条鋼部門は、価格はほぼ横ばいでしたが、数量が減少したため、売上高は46億83百万円（前年同四半期比16.4%減）となりました。

ステンレス加工品部門は、物干竿等の家庭用金物製品が振るわず、給湯器用フレキ管も減少したため、売上高は6億81百万円（前年同四半期比24.0%減）となりました。

鋼管部門は、建設仮設材用の数量が大きく減少し、価格も低下傾向のため、売上高は17億29百万円（前年同四半期比34.2%減）となりました。

機械部門は、取引先が設備投資に慎重になったため、販売台数が大きく減少し、売上高は1億79百万円（前年同四半期比62.3%減）となりました。

(インドネシア)

インドネシア事業は、現地の二輪車、四輪車メーカーが新型コロナウイルス感染拡大の影響を大きく受け、販売数量が減少し、売上高は2億52百万円（前年同四半期比63.3%減）となりました。セグメント営業損益は51百万円の損失となりました。

(そ の 他)

その他事業の自転車の販売は、店舗の集約と、コロナ禍で一時営業を自粛していたことの影響もあり、売上高は1億16百万円（前年同四半期比50.1%減）となりました。セグメント営業損益は3百万円の損失ですが、一店舗体制としたことで、前年同四半期に比べ3百万円損失を縮小させることができました。

(セグメント・製品部門別売上高比較表)

区 分	前第2四半期連結累計期間 (自 平成31年4月1日 至 平成元年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 令和2年4月1日 至 令和2年9月30日)		前連結会計年度 (自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
日 本						
ステンレス管	10,406	49.7	8,452	52.5	21,308	50.6
ステンレス条鋼	5,605	26.8	4,683	29.1	11,505	27.3
ステンレス加工品	896	4.3	681	4.2	1,701	4.0
鋼 管	2,628	12.5	1,729	10.8	5,054	12.0
機 械	475	2.3	179	1.1	873	2.1
インドネシア	687	3.3	252	1.6	1,361	3.2
そ の 他	233	1.1	116	0.7	354	0.8
合 計	20,934	100.0	16,095	100.0	42,160	100.0

(2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第2四半期連結会計期間末の総資産は520億15百万円となり、前連結会計年度末に比べて21億3百万円減少いたしました。総資産の増減の主なものは、現金及び預金の増加10億79百万円、受取手形及び売掛金の減少23億99百万円、電子記録債権の減少7億29百万円、たな卸資産の減少7億13百万円などであり、負債の部は25億98百万円減少いたしました。負債の部の増減の主なものは、支払手形及び買掛金の減少8億23百万円、電子記録債務の減少18億76百万円などであり、

当第2四半期連結会計期間末の純資産は407億87百万円となり、前連結会計年度末に比べて4億94百万円増加いたしました。これは、利益剰余金が4億43百万円増加したことに加え、その他の包括利益累計額が54百万円増加したことなどによるものであります。これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べて4.0ポイント上昇し、78.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の業績予想につきましては、令和2年7月31日の「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」で公表いたしました業績予想から変更はありません。

当社グループの業績に直接的又は間接的に影響する主な要因のうち、当社グループの事業と密接に関連する重要なものとしてステンレス鋼の市況があります。ステンレス鋼の市況は需給バランスだけでなく、ステンレスの主原料であるニッケル市況の影響を強く受けています。これらはいずれも的確に予測できるものではなく、また、予測どおりに推移する保証もありません。

業績予想に際しては、予想時点の状況を基として予想期間における当社グループに関連する情勢を加味しておりますが、業績予想は実際の業績を保証するものではありません。実際の業績は、その後の情勢の変化等に伴い予想と乖離することがあります。その場合は、業績見込みの見直しを行い、その結果、業績予想の修正が必要と判断したときには速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和2年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (令和2年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,944	10,023
受取手形及び売掛金	10,625	8,226
電子記録債権	3,785	3,056
たな卸資産	10,198	9,485
その他	210	383
貸倒引当金	△14	△11
流動資産合計	33,749	31,164
固定資産		
有形固定資産		
土地	7,722	7,712
その他(純額)	7,342	8,035
有形固定資産合計	15,065	15,748
無形固定資産		
その他	22	21
無形固定資産合計	22	21
投資その他の資産		
その他	5,289	5,089
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	5,281	5,081
固定資産合計	20,369	20,851
資産合計	54,118	52,015
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,958	2,135
電子記録債務	5,196	3,320
短期借入金	636	586
未払法人税等	635	476
賞与引当金	381	381
その他	1,592	1,610
流動負債合計	11,399	8,510
固定負債		
長期借入金	1,300	1,524
役員退職慰労引当金	226	172
環境対策引当金	55	55
退職給付に係る負債	182	186
その他	660	777
固定負債合計	2,425	2,716
負債合計	13,825	11,227

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和2年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (令和2年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,360	7,360
資本剰余金	7,659	7,659
利益剰余金	24,519	24,962
自己株式	△306	△306
株主資本合計	39,232	39,676
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	533	599
為替換算調整勘定	494	481
退職給付に係る調整累計額	6	6
その他の包括利益累計額合計	1,034	1,088
非支配株主持分	25	23
純資産合計	40,293	40,787
負債純資産合計	54,118	52,015

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自令和2年4月1日 至令和2年9月30日)
売上高	20,934	16,095
売上原価	16,246	12,611
売上総利益	4,687	3,484
販売費及び一般管理費	2,821	2,510
営業利益	1,865	974
営業外収益		
受取利息	7	5
受取配当金	43	42
持分法による投資利益	78	16
雇用調整助成金	—	178
その他	21	22
営業外収益合計	150	265
営業外費用		
支払利息	4	4
売上割引	12	10
為替差損	43	22
その他	6	3
営業外費用合計	67	41
経常利益	1,948	1,198
特別利益		
固定資産売却益	350	—
投資有価証券売却益	—	142
特別利益合計	350	142
特別損失		
固定資産除却損	10	0
投資有価証券評価損	5	—
特別損失合計	15	0
税金等調整前四半期純利益	2,283	1,340
法人税、住民税及び事業税	676	419
法人税等調整額	2	7
法人税等合計	678	426
四半期純利益	1,605	913
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	0	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,604	914

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自令和2年4月1日 至令和2年9月30日)
四半期純利益	1,605	913
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△59	66
為替換算調整勘定	△15	△15
退職給付に係る調整額	△5	0
持分法適用会社に対する持分相当額	6	1
その他の包括利益合計	△73	52
四半期包括利益	1,531	965
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,531	967
非支配株主に係る四半期包括利益	0	△2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結累計期間(自 令和2年4月1日 至 令和2年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 令和2年4月1日 至 令和2年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成31年4月1日 至 令和元年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	日本	インドネシア	計				
売上高							
外部顧客への売上高	20,013	687	20,701	233	20,934	—	20,934
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,053	—	2,053	—	2,053	△2,053	—
計	22,066	687	22,754	233	22,987	△2,053	20,934
セグメント利益又は 損失(△)	1,751	26	1,777	△6	1,771	94	1,865

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自転車関連商品の販売にかかる事業であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 令和2年4月1日 至 令和2年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	日本	インドネシア	計				
売上高							
外部顧客への売上高	15,727	252	15,979	116	16,095	—	16,095
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,622	—	1,622	—	1,622	△1,622	—
計	17,350	252	17,602	116	17,718	△1,622	16,095
セグメント利益又は 損失(△)	914	△51	862	△3	859	114	974

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自転車関連商品の販売にかかる事業であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

— 以上 —

<参考資料>

令和2年10月30日
モリ工業株式会社

令和3年3月期 第2四半期 決算発表

1. 要約連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前期末 R2. 3. 末	当四半期末 R2. 9. 末	増 減		前期末 R2. 3. 末	当四半期末 R1. 9. 末	増 減
流動資産	33,749	31,164	△2,585	流動負債	11,399	8,510	△2,889
現金及び預金	8,944	10,023	1,079	支払手形及び買掛金	8,154	5,456	△2,698
受取手形及び売掛金	14,411	11,283	△3,128	短期借入金	636	586	△50
たな卸資産	10,198	9,485	△713	未払法人税等	635	476	△159
その他	195	372	177	引当金	381	381	0
				その他	1,592	1,610	18
固定資産	20,369	20,851	482	固定負債	2,425	2,716	291
有形固定資産	15,065	15,748	683	長期借入金	1,300	1,524	224
土地	7,722	7,712	△10	役員退職慰労引当金	226	172	△54
その他	7,342	8,035	693	繰延税金負債	411	457	46
無形固定資産	22	21	△1	その他	488	563	75
投資その他の資産	5,281	5,081	△200	負債合計	13,825	11,227	△2,598
投資有価証券	2,979	2,762	△217	純資産	40,293	40,787	494
退職給付に係る資産	1,356	1,374	18	株主資本	39,232	39,676	444
その他	945	944	△1	資本金・資本剰余金	15,020	15,020	0
				利益剰余金	24,519	24,962	443
				自己株式	△306	△306	0
				その他の包括利益累計額	1,034	1,088	54
				非支配株主持分	25	23	△2
資産合計	54,118	52,015	△2,103	負債・純資産合計	54,118	52,015	△2,103

2. たな卸資産回転月数 (期末たな卸資産÷累計期間の月平均売上高)

(単位：月)

	前第2四半期	当第2四半期	増 減
たな卸資産回転月数	2.83	3.54	0.71

3. 有形固定資産の増減内訳

(単位：百万円)

有形固定資産の増減	設備投資	減価償却	その他処分等	為替換算増減
683	1,199	488	△2	△30
日本 (744)	(1,190)	(441)	(5)	(—)
インドネシア (△61)	(9)	(47)	(△7)	(△30)

4. 実質有利子負債の比較

(単位：百万円)

	前期末 R2. 3. 末	当四半期末 R2. 9. 末	増 減
有利子負債①	1,946	2,121	175
現預金等換金性のもの②	8,944	10,023	1,079
実質有利子負債①-②	△6,997	△7,902	△905

5. 要約連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期 H31.4-R1.9	百分比 %	当第2四半期 R2.4-R2.9	百分比 %	増減
売上高	20,934	100.0	16,095	100.0	△4,839
売上原価	16,246	77.6	12,611	78.4	△3,635
売上総利益	4,687	22.4	3,484	21.6	△1,203
販売費及び一般管理費	2,821	13.5	2,510	15.6	△311
営業利益	1,865	8.9	974	6.0	△891
営業外収益	150	0.7	265	1.7	115
受取利息	7		5		
受取配当金	43		42		
持分法投資利益	78		16		
雇用調整助成金	—		178		
その他の他	21		22		
営業外費用	67	0.3	41	0.3	△26
支払利息	4		4		
売上割引	12		10		
為替差損	43		22		
その他の他	6		3		
経常利益	1,948	9.3	1,198	7.4	△750
特別利益	350	1.7	142	0.9	△208
固定資産売却益	350		—		
投資有価証券売却益	—		142		
特別損失	15	0.1	0	0.0	△15
固定資産除却損	10		0		
投資有価証券評価損	5		—		
税引前四半期純利益	2,283	10.9	1,340	8.3	△943
法人税等	678	3.2	426	2.6	△252
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0.0	△1	0.0	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,604	7.7	914	5.7	△690

6. 当第2四半期の経常利益増減要因 (前第2四半期対比)

(単位：百万円)

増益要因	金額	減益要因	金額
1. 変動費率の低下	259	1. 生産金額 (量・価格含む) の減少	△1,533
2. 固定費の減少	375	2. 棚卸評価差損益	△37
3. 為替差損益	21		
4. その他	165		
計	820	計	△1,570
		差引	△750